



#### 4 事業の評価

| 評価基準                  |   |               |   |                  |                |
|-----------------------|---|---------------|---|------------------|----------------|
| [妥当性]事業のニーズはあるか       |   | 増加している        | ○ | 横ばい              | 減少している         |
| [妥当性]事業手段は妥当か         |   | 現行の手段でよい      |   | 一部見直しが必要         | ○ 見直しが必要       |
| [妥当性]官民の役割は妥当か        |   | 市が行うべき        | ○ | 他の主体との協働も可能      | 市が行う必要性は薄れている  |
| [妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか   |   | 急いで取り組む       | ○ | 中長期的に取り組む        | 緊急性は薄い         |
| [有効性]更に効果が期待できるか      |   | できる           | ○ | あまりできない          | できない           |
| [有効性]成果目標はどの程度達成しているか |   | 達成している(90%以上) | ○ | おおむね達成(70~90%未満) | 達成していない(70%未満) |
| [有効性]上位施策への貢献度        |   | 重要かつ高い貢献度がある  | ○ | 一定の貢献度がある        | 貢献度は低い         |
| [効率性]事業費を抑制できるか       |   | できない          | ○ | 制約はあるが可能性はある     | できる            |
| [効率性]受益者負担の見直し        | ○ | 適正            |   | 負担は求められない        | 見直しが必要         |

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

|           |      |    |    |      |    |
|-----------|------|----|----|------|----|
| 事業内容の方向性  | 充実   |    |    | ○    |    |
|           | 現状維持 |    |    |      |    |
|           | 縮小   |    |    |      |    |
|           | 廃止   |    |    |      |    |
|           |      | ゼロ | 縮小 | 現状維持 | 拡大 |
| コスト投入の方向性 |      |    |    |      |    |

|                |  |
|----------------|--|
| 担当課評価の根拠       | 利用件数の増加に伴い、事業内容の充実を図るためには、コストが拡大する可能性があるが、コストの現状維持に努め、より良く充実させる。                           |
| 「見直し」<br>「改善」案 | 利用件数の増加に伴い、維持管理コストは増大することが見込まれるが、従来の対症療法型管理から予防保全型管理への転換を図り、安全性を確保するとともに、ライフサイクルコストの縮減を図る。 |